

RS-Catdap の使い方

2025年9月1日

1. はじめに

CATDAP (CATegorical Data Analysis Program package) は, Katsura and Sakamoto (1980) で発表されたカテゴリカルデータ解析プログラムパッケージである。その後, R パッケージ catdap として提供され, その中の関数 catdap2 をもとに shiny を使った Web アプリケーションとして RS-Catdap が提供されてきた。

以下は, サーバーの運用終了に伴い RStudio 上での実行手順をまとめたものである。

2. 利用方法

2.1 準備

- R のインストール (<https://cran.ism.ac.jp/>)
- RStudio のインストール (<https://posit.co/download/rstudio-desktop/#download>)
- R のパッケージ shiny を依存パッケージとまとめてインストール

Console で

```
> install.packages("shiny",dependencies = TRUE)
```

または, Packages タブの「Install」をクリックし「install dependencies」にチェックを入れてインストール

2.2 アプリの実行方法

(1) RS-Catdap.zip を解凍

ディレクトリ RS-Catdap の下に PackageSource と RS-Catdap が展開される。

(2) R パッケージ catdapS のインストール

PackageSource の下の

- パッケージソース catdapS_0.9.7-8.tar.gz
- Windows バイナリ catdapS_0.9.7-8.zip (r-devel)
- macOS バイナリ catdapS_0.9.7-8.tgz (arm64)

の中から使用の OS にあったものを選択してインストールする。

例えば, Windows の場合, ターミナルからは

```
> install.packages("catdapS_0.9.7-8.zip", repos = NULL)
```

(注) 必要に応じて catdapS_0.9.7-8.zip はファイルへのパスも含めたファイル名に変更

(3) Shiny アプリを実行

- ・ RS-Catdap/index.Rmd を RStudio から開く.

最初に読み込んだ時は、エディタ領域の上に `必要なパッケージがインストールされていない` という旨のメッセージが表示されるので Install をクリック.

- ・ ツールバーの[Run]のメニューから[Run All]をクリックして実行する.

(補足) レポジトリ登録時のテスト環境

R version 4.5.1,

package 'shiny' version 1.11.1,

Rstudio 2025.05.1 Build 513